



河内小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

子供の声に耳を傾け 子供の「やりたい」を形に !!

文部科学省は、「義務教育の在り方ワーキンググループ 審議のまとめ」(令和6年12月)の中で、“目指すべき義務教育・学校教育の姿及び取組の方向性”について、次のように述べています。『多様な背景や特性を有する一人一人の子供たちの状況を理解し、日々の変化や成長を見取り、励ますとともに、他者と関わり合いながら成長する子供たちの指導・支援を行う教師の役割は、どのように社会が変化してもデジタル機器やオンライン等では代替えすることのできない、かけがいのないものである。』

本号では、教職員と地域住民が、子供の思いを生かす学びを展開している河内小学校を紹介します。

河内小を盛り上げながら、地域を盛り上げる、「明るいあいさつプロジェクト」!

【9月 熟議「河内を盛り上げる挑戦(プロジェクト)とは」】

4月に今年度の全校で取り組むチャレンジ目標に“あいさつ”を入れました。1学期末の学校評価や熟議で「明るいあいさつはもう少し」と地域の方や保護者から知らされた子供たちは、『どうして?頑張っているつもりなのに。何とかしたい!』と、この活動を始めました。<校長>



元気なあいさつを増やすために考えました。地域の方のご意見をお願いします。<小学生>

地域で、あいさつしても、返ってこない時があって…

なるほど!ではどうすればいいかな…<小学生>

仕事をしていると聞こえない時もあるんだよ。ごめんなさい。<地域住民>

【10月 河内小サミット「じゃ何をする」】



いい考えですね。〇〇するととってもいいかもね。<地域住民>

子供なりによく考えているね。低学年にも丁寧に教えていて優しいね。<地域住民>

読みながら階段を上がると、明るく元気なあいさつができそうです。<小学生>

【12月 プロジェクト実行「壁画・がんばりカード」】

あいさつがんばりカードについて (お知らせとお願い)

高学年の児童は、12月から児童が取り組んでいる「あいさつがんばりカード」に、保護者・地域の皆さんにも取り組んでみてもらいたいと考えています。どうしたら南河内の皆さんに取り組んでもらえるかを学級で考え、以下の3つにチャレンジしてみるになりました。

- *がんばりカードを自分の自宅の近所に配る。
- *公民館や郵便局などが集まる場所に置いてもらう。
- *各家庭に持ち帰って取り組んでもらう。

子どもたちの活動の様子のひとつを知っていただく機会になればと思っています。保護者の皆様・地域の皆様、ぜひこのがんばりカードを手にとって、一緒に取り組んでみてください。子どもたちの思いが届きますように…。



令和8年1月から

『明るく元気なあいさつで みんなもハッピーこうちしょうがっこう(河内小学校)!!』…文字は全校みんなが、ビックリマークは校長先生が書き込みました。<小学生>

地域住民は、稚拙ながらも一生懸命考える子供たちの思いに寄り添い、教職員は子供の思いや願いを何とか実現させようと伴走支援に徹していました。子供たちは、苦労しながら思いを形にできた達成感や成就感を味わっていました。地域と学校の一体感が、生きる力の源となる自己肯定感や他者肯定感を育てていました。

